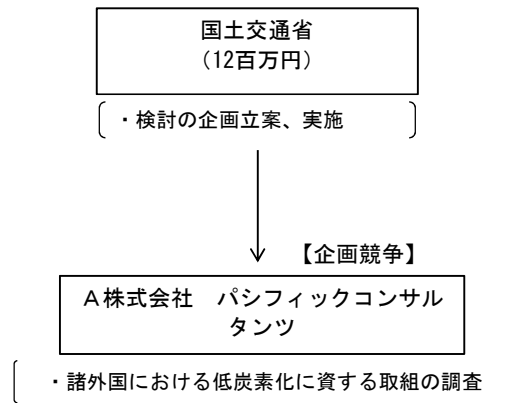


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	道路交通分野における地球温暖化対策検討経費		<b>担当部局庁</b>	道路局		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H22/H24		<b>担当課室</b>	環境安全課 道路環境調査室		室長 岡 邦彦	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	3-9 地球温暖化防止等の環境の保全を行う			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	<p>・地球温暖化対策については、京都議定書及び京都議定書目標達成計画(08年~12年)に基づき、関係機関で取組を進めているところであるが、現在、関係各国で、次の地球温暖化対策の計画となる「ポスト京都議定書」について調整を進めている。このため、我が国の道路交通部門においても、目標設定と施策検討を進めていく必要がある。</p>						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	<p>・我が国の地球温暖化対策の次期計画の策定に向けて、現在の京都議定書目標達成計画に位置付けられている道路交通分野の施策以外に、新たに追加すべき施策の検討のため、主に諸外国における低炭素化に資する取組を幅広く調査する。加えて、これらの取組について道路事業の企画・計画段階から維持管理・更新段階に至るまで、段階ごとに整理・分析する。その上で、調査収集した各取組を分類し、その特徴を把握して、日本での導入可能性の検討や導入にあたっての課題を整理する。</p>						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	-	-	12	11	12
		繰越し等	-	-	0	0	-
		計	-	-	12	11	12
	執行額	-	-	12	-	-	
	執行率(%)	-	-	99.7%	-	-	
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	道路交通分野における地球温暖化対策について検討		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	主に諸外国の道路事業における低炭素化に資する取組について調査を実施		活動実績(当初見込み)	-	-	-	(-)(-)
<b>単位当たりコスト</b>	-		算出根拠				
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	地球温暖化防止等対策費	11	12	-			
計	11	12					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該予算の執行は国土交通省で実施しており、全ての支出先を把握している。</li> <li>・また、入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議いただいている。</li> <li>・平成22年度の調査結果を踏まえ、今後策定する地球温暖化対策の次期計画をいかに実効性のあるものにとりまとめていくかが課題である。</li> </ul>		
予算監視・効率化チームの所見			
一般改善②	<p>諸外国の道路事業における低炭素化に資する取組みの調査結果を踏まえ、我が国における道路交通分野での削減目標などを設定し、具体的な地球温暖化対策の実施に向けた取組みを行う。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
平成22年度の諸外国の低炭素化の取組みの調査結果を踏まえて、国内の地球温暖化対策の施策の抽出・検討を行う。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			



**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」において  
 ブロックごとに最大の金額  
 が支出されている者につ  
 いて記載する。費目と使途  
 の双方で実情が分かるよう  
 に記載)

A (株)パシフィックコンサルタンツ.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	地球温暖化対策に係る調査検討	12			
計		12	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)パシフィックコンサルタンツ	諸外国における低炭素化に資する取組の調査	12	1	99.7%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					